景清

[謡本] 景清 1冊 WA7- 022-001
国立国会図書館

[謡本] 景清 1冊 WA7- 022-002
国立国会図書館

歌えぬたよわも風なれたぐ
下
清遠乃身ゆりふまわぬらせ
廿二
こゝ我是鎌倉兎江谷に人丸と中
女よそひざそも歌父恵七是浦
景清是雪家の味方たるによりて
源氏母こ是まゝ我ば向國宮崎と
うや小なりさ我て年月を選ま

[謡本] 景清 1冊 WA7- 022-003
国立国会図書館

[謡本] 景清 1冊 WA7- 022-004
国立国会図書館

[謡本] 景清 1冊 WA7- 022-005
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

[謡本] 景清 1冊 WA7- 022-006
国立国会図書館

長に親をきしのがな秋ぬ親子を
かなしひぶよ其の清て言葉我
うりは　詞を見せ面影を
見ぬ盲目そこの所しき必乃らて
はきし心ちうなりくれや孫
義清明に祝くゝ　以ふこ孫
あとわ母里人乃まゝ里ひこの

里人此ハなる孫清目まゝりう
なりさ孫人乃り志や清なり
流さ孫人よとわても明うやま
な孫人を清見りう　雪家孫付
悪七兵衛景清を通て中作
唯々ち所へ清出ひあまたなる
山陰にぶらや乃以小人ちひそ

[謡本] 景清 1冊 WA7- 022-007
国立国会図書館

さ里を御り　〳〵ゆきしやかは
盲目なる乞食ゆひ清き
〳〵なるまゝまも見なる御乞食こう
清野人景清はよぶしきや
景清乃事我中てんくをぶき
所る清ことの清結傷乃をし我
見したまひてゆハゞ何と中たる

御事ゆそりう　〳〵清不害む
まてゆゞ何我ゝの清ゝ見中んく我
是ハ景清乃自女まて渡王候り
ゞ一度ちゝこ小清寄面を度由
信ゝ社ゆひてぞまてはるゝ
清下向まてゆゞとても社清事に
然不へ義やまに你ゝ社はひて

[謡本] 景清 1冊 WA7- 022-008
国立国会図書館

景清に列名中さる所で給ふ事なく
宣語名所さて老景清乃清且女
よて御座人が先清さしあを
志清めて御呂まんへ景清は
両服盲下しくてぎまりた
所さり水見をお詠しば四の
勾當と必我はなたまひ前をも

旅人をたゞ乃見ぶまとしさしとおお
老乃あり秋見をも清て身前を
清はなひが首にひおうへたる
清も穢を恥中さる所で清必乃ね
なるに指量中で以案昨日清付
中ば景清に呼中面しぶ必なるも
こたふ面しぞ同清実面あ清て

[謡本] 景清 1冊 WA7- 022-009
国立国会図書館

昔明さ孫清物語りんき所にへ
渡里りんだよふ〳〵景清乃渡里
作の悪七兵衛景清の渡里ひゝの
かしまし〳〵さかなたり
故ゆ乃老とて見し我此さな
な程も男を恥て必乃らて為れ
かなしさ千行乃此渡たまと我

ゆたし〳〵万事ハ第弟うち乃
あたし男なわとおさめてぞ老
此世小なる物と思ひきわる所
乞食をぞ七兵衛景清なん此
よはゝき所にこのこたふへ兼り
ぞ上形必を此國乃 上月 口向此ハ
ほりむかふ〳〵世うひたる

[謡本] 景清 1冊 WA7- 022-010
国立国会図書館

[謡本] 景清 1冊 WA7- 022-011
国立国会図書館

よりける浪も仰ぎ越るハ夕堀も
さけやうぞ濱石に影も雪家や
物語りしめて清慰を申さぬ
[ミノ詞] 以ゝ中ゝは唯ちハ心にかゝる
事ゝ話ゝて拙直を申て以清兎
あらぬけるまで作 [ヤキ詞] 以やく
以清も話すまて以程にゝ御

しけはまゝ影ゝよわ以前に
景清を見中たる人ハ明くゝは
[ミノ] 以やく清見よわはり小見ゝ
人ゝ有くゝは [ヤキ] あらぬを作はや
ゞさしうけ我よ話ゝ女ゝ
作ゝ社ゝひて清見ゝひし物を
ぼとて清清ゝ見りうあまわ

[謡本] 景清 1冊 WA7- 022-012
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

[謡本] 景清 1冊 WA7- 022-013
国立国会図書館

[謡本] 景清 1冊 WA7- 022-014
国立国会図書館

ヤキ詞
あら痛りしや先ゑ波里なん
いらは景清よりひばせはめ子孫
清所望乃は
シテ詞
何事よそらう
八時まで景清乃清高名乃横り
ゆゝ召まさ幾由你ら祇はうと
清物語をて幾のをやさ祇なん
こゝ祇是何望やら無似合ぬ所望

まてらんせ是をさて来まるる
ちゝ何をしぎ餘よふひ無小ゝ程よ
語てゆをは面しぎ物語を作り
ば老を形而故へ不面して
給りまなん
ヤキ
如何ゆ作ば物語
をんはゝやうて不面しゆさう
ゐるまでは
シテ
慈嬉しやさらを

[謡本] 景清 1冊 WA7- 022-015
国立国会図書館

抽注

こゝろ清て我うをうけるよそは
いてそ子孫比ハ壽永三年三月
下旬孫事なわしに雪家を舟
源氏ハ淀両岸を海屋よりはて
ぞよ勝負をきはせ此は清寸
上カル
能冬雪麦種乃たまふやうだ年
りまて下乃其詠やさ倭中孫水崎

びよとわこえ万以て流まて
一度も味方の理なり清し出と
びとへ万蒙種のたりわこと
以見しまよ清てなるべりまも
して九帝を主ふ世だりわ出と
さうあり下ほしけき此宣へ考
討
ぞうけ家よさうて詠よおもふやう

[謡本] 景清 1冊 WA7- 022-016
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

ぎおんなる神たちとそも
あゝゑこそなぎおんを祇園やいうわ
なんとおもひぎ姿にて京はみ
服元座ア　あうまさま源氏の名
上カル　　　上月ここここここ
あまのじゃ海しゃとそうけせかふ
景清こそ我をそぐまおく
やとぞゆみはこうをぶうちもみ

ひゝ兎うひてゑ景清そかく我を
こらへれしそぐ世ひたる名を
四方へ清とうりくる半面
おろくしゃさまふゝや
うくよく源氏たうひ小
ろろもも清こ二人をとあむ
うちをあせ乃ち物ごゝ我ふ

[謡本] 景清 1冊 WA7- 022-017
国立国会図書館

[謡本] 景清 1冊 WA7- 022-018
国立国会図書館

[謡本] 景清 1冊 WA7- 022-019
国立国会図書館

国立国会図書館

[謡本] 景清 1冊 WA7- 022-020

国立国会図書館

[謡本] 景清 1冊 WA7- 022-021

国立国会図書館